

# 社会

## 令和5年度 授業改善のポイント

- (1) 単元の目標と、1単位時間の学習課題や活動のつながりを吟味した単元計画を作成するとともに、単元のまとまりを見通して適切な評価規準を設定する。
- (2) 児童生徒が資料から読み取る「事実」と、それを基に考える「特色や意味」を教師が的確に把握した上で、社会的な見方・考え方を働かせて考察するための問いを工夫する。
- (3) 出し合った意見を基に思考を深める場面を設定するとともに、児童生徒の反応を予想して、揺さぶったり切り返したりするための補助発問や補助資料を準備する。

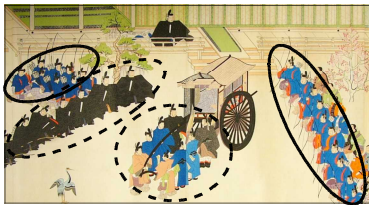
### 資料を基にして、社会的な見方・考え方を働かせる問いの工夫

#### 【指導事例】

単元及び本時のねらいを達成するために「どのような資料で、どのような視点から考察することが適切か」を明確にした上で、児童生徒に着目させたい「視点」を含む問い（学習課題や発問等）を設定することが、見方・考え方を働かせることにつながります。→※○着目させたい視点の例

歴史的分野 中学校第1学年 中項目(2)「中世の日本」 ◎主に **ポイント(2)** に関連する内容

◇中項目の導入で、生徒の気付きや疑問を基に単元を貫く問い(学習課題)を設定する手立ての例



武士と貴族を丸で囲んでみましょう。

武士と貴族の力関係は、どのように変わりましたか。



変化



推移

左の絵は中心に貴族がいるけど、右の絵は中心に武士…。武士の力が高まったのかな。

単元を貫く問い 武士の力はどのように高まり、世の中はどのように変わったのだろうか。

変化

◇見方・考え方を働かせながら社会的事象の特色を考える活動の例 小単元1 第2時 平氏政権

社会的事象の歴史的な見方・考え方とは、社会的事象を、時期、推移などに着目して捉え、類似や差異などを明確にし、事象同士を因果関係などで関連付けることです。

**学習課題** 比較することで、類似や差異が見えてきます。 特色は、比較することで明らかになります。

平氏の政治は、藤原氏の政治と比べてどのような特色があるのだろうか。

〈藤原氏〉	〈年表〉	〈平氏〉
<ul style="list-style-type: none"> <li>娘を天皇の后にして、摂政や関白に</li> <li>朝廷の高い地位</li> <li>荘園からの収入</li> </ul>	10世紀 源氏と平氏が力を付ける 1156 保元の乱 1159 平治の乱 1167 平清盛が太政大臣になる 平氏が多くの荘園を得る 日宋貿易開始(神戸) 娘を天皇の后にして成長 1185 壇ノ浦の戦いで平氏滅亡	<ul style="list-style-type: none"> <li>共通点(類似)               <ul style="list-style-type: none"> <li>娘を天皇の后に</li> <li>朝廷の高い地位</li> <li>荘園からの収入</li> </ul> </li> <li>相違点(差異)               <ul style="list-style-type: none"> <li>日宋貿易の利益</li> </ul> </li> </ul>

平氏が最も栄えたのは、いつ頃でしょうか。

本時のポイントとなる(貴族の最高職に就いた)時期に着目させます。

類似と差異を明らかにします。

**まとめ** 平氏の政治の特色を、藤原氏の政治との共通点や相違点を基に、関連付けてまとめてみましょう。

平氏は、藤原氏のように娘を天皇の后にして天皇との関係を強め、政治の実権を握るとともに、多くの荘園から収入を得た。また、藤原氏と違い、貿易による利益も得て経済力を高めた。

生徒が自分の力でまとめることができるように、書き出しなどを提示する支援も考えられます。

調べたことを並べるだけでなく、関連付けて考えた「特色」をまとめているかを見取ります。